

甲 山 探 鳥 会

日 時：2023年4月13日（木） 9時～14時

場 所：有馬富士公園 （集合時間・場所：JR新三田駅 9時）

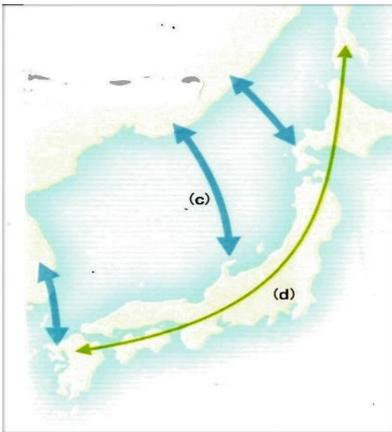
【私達そろそろ帰ります！】

冬の里山を賑わしていました、冬鳥の常連さん達もそろそろ帰国の途につきます。では多くの冬鳥達は何処からきて、何処に帰るのでしょうか。調べる手段としては金属の足環を付けたり、小型の発信機を付けたりして調べますが、その種類によりそのコースはバラバラのようです。そんな中でも特に身近なツグミ、シロハラ、ジョウビタキを調べてみました。

（c）コース＝ロシア南東部から日本海を横断し、離島を経由して日本本土に飛来する。又は朝鮮半島を経由して九州北部、山陰地方に飛来する。

（d）コース＝サハリンから日本列島を南下するコース。

記録日は私の2015年からの記録に拠りますが、皆さんも自分の記録を付けると楽しいですよ。



- * ツグミ L:24cm W:65-107g 雌雄同色
記録日：最初に観た日／11月4日 最後に観た日／4月29日
（c）コース + （d）コース
- * シロハラ L:24cm W:66-80g 雌雄ほぼ同色
記録日：最初に観た日／10月27日 最後に観た日／5月11日
（c）コース + （d）コース
- * ジョウビタキ L:14-15cm W:11-20g 成鳥♂は頭頂から後頭まで灰白色、成長♀は全体に灰褐色。♂♀共に次列が基部が白色で白斑になる。
記録日：最初に観た日／10月18日 最後に観た日／4月5日
（c）コース

この時期見られそうな鳥（鳥名は山と溪谷社図鑑「日本の野鳥」掲載順）

キジ	ミサゴ	ルリビタキ
カルガモ	トビ	ジョウビタキ
コガモ	カワセミ	ニューナイスズメ
ヒドリガモ	モズ	スズメ
ホシハジロ	ハシボソガラス	キセキレイ
キンクロハジロ	ハシブトガラス	ハクセキレイ
カイツブリ	ヤマガラ	セグロセキレイ
カンムリカイツブリ	シジュウカラ	アトリ
キジバト	ツバメ	カワラヒワ
カワウ	ヒバリ	マヒワ
アオサギ	ヒヨドリ	ホオジロ
ダイサギ	ウグイス	アオジ
コサギ	エナガ	コゲラ
オオバン	メジロ	ソウシチョウ
ケリ	ムクドリ	
イカルチドリ	シロハラ	
イソシギ	ツグミ	

出典：文一総合出版「日本の渡り鳥」、日本野鳥の会「全国鳥類越冬分布調査報告書」より抜粋 森永啓司

（注1）参加されます方は名札の着用をお願い致します。